

天高く馬肥える秋の到来。
温暖化の影響かまだまだ暑い日が続きます。
近所の公園に出かけ、ついでに栗拾い。皆さん落ちて
いる栗を必死で探します。これで栗ご飯ができるかな？！



10月と言えば、秋桜見物、そして運動会。
去年見つけた秋桜の穴場スポット、浅海に行きました！が、整備されておらず今年はちょろちょろと申し訳ない程度にまばらな花が生えているのみ…
そこで気を取り直して見奈良へ。とても良いお天気でしたが、なぜかこの日は肌寒い！
でも皆さん満開の花に大満足されていました。



そして例年通り近くの公園で全員参加の運動会を開催しました。
「行き帰りも運動会」。原則歩いて出かけます。平日の公園は誰もおらず、貸し切り状態。
Kさん夫妻の選手宣誓に続いてラジオ体操。そして応援合戦。
第一種目はパン食い競争ですが、走れる能力に応じてスタートラインが変わるという
スパルタ方式…。
2人ずつ走るのを皆で応援、パンに食いつく人も応援する人も笑顔がこぼれます。
「手を使ってはいけない」というルールを頑なに守る人、目的のためなら手段を択ばない人…
人によって様々です。みんなの性格が見抜けたぞ？！

手に入れたパンをさっそくぱくつき、お茶を飲みながら休憩した後で
第二種目、紅白に分かれた玉入れ（これも全員）。

はじめは「私は足が悪いのでできません…」
としおらしかったMさん、
競技が始まると車いすから降りて玉を拾いに
いくアグレッシブさでした。
雰囲気を感じて自然と頑張るのが人間のサガ
なのですね！



第三種目の綱引きと、第四種目のリレーは
職員競技です。

これまた妥協を許さない本気（ガチ）な戦
い。すさまじきものなり…。

M君の得た教訓は、運動会でサンダルはや
めとこうというものでした。

（余裕をかまして、Mさんに抜かれた）



大いに笑って汗を流した後のお弁当は美味

しい！利用者さんも職員もハツラツと、身体を動かすことを大いに楽しんでいました。



今年は最後にもう一つ行事が。

詳細は後援会報“寒梅”に記されていますが、知り合いの方から私に声がかかり、寄贈された絵をもとに「ともの家 展覧会」へと発展したのです。

芸術の秋、頂いた「森修氏」の絵を中心に、友人に画評を頼み、ミニギャラリーが開催されました。このパンフレットが素晴らしい出来で、目から鱗。

「絵画と音楽のコラボ、どうかな？」ということで敬老会に結成された「ともの家バンド」も皆さんに初お目見え。計三回のリサイタルをしてくれました。

10月30、31日の両日、後援会の皆さんがバザーと喫茶を担当して下さり、地域の皆様をお客に迎え、大いに盛り上がったのでした。



単なる「介護現場」ととどまらず、芸術を巻き込み地域に向けて発信していく。来場者からは「職員さんのあり方、利用者さんの雰囲気などとても良かった」と言ってもらえました。普段は高齢者施設に足を踏み入れることもないと思います。もちろん吾も紅からは、利用者さんを二日に分け全員お連れし、展覧会とコンサート、そしてコーヒーとお菓子を楽しんでいただきました。色々な交流を通してかかわった職員のレベルも上がったと思います。

本当に必要なのは、分野や年齢の垣根を超えたこういった活動なのだと改めて感じた秋の日でした。